

山行報告(2018年4月4日号)

■大津岐峠・山スキー

《山行日》2018/4/1(日)

《参加者》青木(友人)、平山(友人)、山崎(報告:山崎)
《日程》ミニ尾瀬公園 7:15～キリンテ 7:45～1754P10:45～大津岐峠 11:30/12:20～上ノ沢源頭 12:45～1723P13:40～キリンテ 14:40～ミニ尾瀬公園 15:20

《概要》静かで雰囲気最高の大津岐

《内容》もうすぐ雪が切れてしまいそうなキリンテ沢沿いに登り、辛うじて残っていたスノーブリッジを渡り、なんとかか沼の平付近に登ることができました。早い雪解けにびっくりです。1770ピーク手前で少し板を担ぎましたが、シールで峠まで登ることができました。会津駒ヶ岳を見れば多くの人が見えますが、誰とも会わない大津岐、静かで雰囲気が最高です。峠のピークから燧ヶ岳をバックに会津駒ヶ岳を眺めながら、稜線上を滑り、雪庇を軽く飛び上ノ沢源頭に滑り込みます。諦めていた雪も走りスピードに乗り快適に落として行きます。複雑な沢が楽しさを倍増させてくれました。登り返しの沢床に着けば雰囲気の良いブナ林が広がります。急斜面の登り返しとなりますが、意外と登りやすくてルートを選んで登り、キックターン無しで1723 Pまで登ることができました。稜線から大津岐の斜面を振り返り、次回の滑走ラインを確認して、キリンテ口まで滑り、約2キロの道路を板を担いでテクテクとミニ尾瀬公園に到着となりました。

■三岩岳 2060mp・山スキー・山ボード

《山行日》18/03/31(土)

《参加者》平松、深澤

《日程》関谷の道の駅 5:20--高畑 P7:00/7:15--葎ヶ原 7:35/7:50～1426mp10:20～三岩 12:30～山頂 12:55～2060mp13:30/14:00～デブリ除けて三岩沢 14:20～巻道 14:40～葎ヶ原 15:10/15:20--檜枝岐温泉スキー場 15:30--高畑 15:50/16:10--関谷の道の駅 18:00

《概要》三岩屈指の大斜面&ナイスザラメ

《内容》せっかくの好天続き、久しぶりに山スキーに出かけました。平松さんの案内で三岩岳に。それも2060mpからの滑降をもくろみました。快晴の稜線漫步です。平松さんのスプリットの扱いと手際の良さに脱帽です。会津駒から中門岳、平が岳から中の岳越後駒、その奥に妙高、未丈毛猛守門浅草丸山梵天高幽佐渡(!)が丸見えます。すごい。さて行きますか。ラインを確認して平松さんがドロップ。どこまでも滑っていきます。尾根がらみでのラインですね。さて深澤さんは、中の島右の沢がらみのライン。これまたいいターンです。さて、私の番。やっぱり沢がらみの中斜面の長いところということ。滑りだすとナイスザラメに感動です。滑る滑る。広い広い。ラインが自由自在です。ターンも大・中の自由自在。まだまだ滑れる。長い長い!安全地点までノンストップ。久しぶりのロングライドで足に来てしまいました。さて次のピッチはデブリ除け入り口まで。ブッシュとクラックを避けて少し登り、左にトラバースして三岩沢に降り立ちました。本当にいい山スキーでした。三岩周辺で一番の斜面ですね。

■三岩岳・山スキー

《山行日》2018/3/25(日)

《参加者》平松、山崎(報告:山崎)

《日程》葎ヶ原 6:50～1426P9:10～三ツ岩 11:25～山頂 12:00～2060P12:30～三ツ岩沢 13:20～中ノ沢出合 13:30～葎ヶ原 14:05

《概要》未知のフィールドでまさかのパウダー

《内容》昨日同様、葎ヶ原から1426 Pを経由して尾根を登ります。昨日より雪解けが進み藪がうるさくなってきました。1900 m付近から強風となり、三ツ岩では雪煙が渦巻いているのでスキーを担ぎアイゼンを装着しラバクラバにヘルメットと完全防備。カリカリの三ツ岩をなんとか通過し山頂まで登ることができました。今日のドロップポイントの2060 Pまで、三

岩岳の斜面を後ろに眺めながら移動します。雑誌に掲載されたシュートも良さそうですが、先に進みドロップポイントに到着しました。準備が完了し白い大斜面に飛び込みます。モナカを予想していましたが、まさかのパウダー、ターンもしやすく沢筋にロングターンを刻みます。意外と迫力のある谷です。平松さんもスプレーを上げて滑ってきました。パイプ状の沢をボトムターンで楽しみ、デブリをエスケープして、三ツ岩沢まで落とします。最高の滑走とロケーションに余韻がなかなか消えません。とにかく最高でした。そこから下はナイスザラメで、また最高。最高づくしの三岩岳BCとなりました。これで今シーズンの三岩岳は滑り納めとします。

■三岩岳・山スキー

《山行日》2018/3/24(土)

《参加者》平松、鈴木、山崎(報告:山崎)

《日程》葎ヶ原 8:30～1426P10:40～三ツ岩 12:45～山頂 13:05/13:20～三ツ岩沢～中ノ沢出合 14:10～葎ヶ原 14:45

《概要》修行の三岩岳

《内容》葎ヶ原から1426 Pを経由して尾根を登りました。下部の方は雪が切れてしまい、一部踏み跡を登りました。三ツ岩付近からの雪は、氷交じりとなりましたがなんとか山頂まで登ることができました。山頂で平松さんと二手に分かれ、平松さんは山頂から三ツ岩沢へドロップ、山崎・鈴木組は、山頂奥のピークから三ツ岩沢へドロップしました。雪は表面がバックされ中が柔らかいモナカ状態、ドロップして最初のターンが出来ず、ジャンピングターンに切り替えました。急斜面を乗りきり、平松さんとの合流ポイントで待機して、平松さん鈴木さんと合流して、中ノ沢出合いまで滑ります。ストップスノーが混じりますが楽しめます。中ノ沢出合いで三ツ岩沢を振り返り余韻に浸りました。そこから下は走るザラメで広い沢床をスピードにのり、ロングターンを楽しみました。

■大戸沢岳・山ボード

《山行日》18/3/18(日)

《参加者》平松

《日程》葎ヶ原スノーシェッド～三岩南東尾根取り付き～1426～コルまで滑走～1884～三岩岳～2060 付近から南東方向に滑走～三岩沢～下大戸沢～葎ヶ原スノーシェッド

《概要》予定通り 2060 から三岩沢

■会津駒ヶ岳・山スキー

《山行日》18/3/18(日)

《参加者》鈴木

《概要》山は春の陽気。ナイスザラメを堪能しました!

■会津駒ヶ岳・大戸沢岳・山スキー

《山行日》18/3/17(土)

《参加者》深澤

《日程》会津駒滝沢登山口へ車デポしバス乗車 7:12→葎ヶ原 7:22 登山開始 7:30→大戸沢岳山頂 12:30→会津駒ヶ岳山頂 13:30 山頂から滝沢登山ルートを滑走 14:00→滝沢登山口 15:00

■日本山岳会栃木ユース雪崩勉強会・その他

《山行日》18/2/24(土)～2/25(日)

《参加者》山崎、深澤、鈴木、植木 他全20名

《日程》・2/24(土) 岳友会本部 6:30/6:50--湯元 P8:40/9:00～湯元スキー場 9:30/11:00～湯元ビジターセンター 12:00/14:40～雪の観察 15:00/17:00～湯元 P--湯の湖荘(泊)

・2/25(日)湯の湖荘 8:00～雪の観察と雪崩トランシーバの塩湯と探索 8:30/11:50～湯の湖荘 12:20/14:00--岳友会本部 16:00

《概要》雪の観察と雪崩トランシーバの基礎を確認しました。

《内容》・2/24(土)日本山岳会栃木県支部が主催の「雪崩学習会」に4人で参加してきました。せっかく湯元に行くのだから、スキー場で滑ろうかと。4回券が1000円。人が多くてびっくりです。それに雪質がとても良くて気持ちいい。すぐに4回が終わってしまいカツ丼とビール。早めですが雪崩勉強会に行きます。飯田先生の雪崩についての説明の後、実際に雪の観察に行きました。湯の湖荘に移動して、お風呂を楽しんで、懇親会に参加しました。

・2/25(日)きのうの積雪の観察を自分たちで行うとともにコンパニオンレスキューの探索までを行いました。収穫の多い勉強会でした。

■羽黒山・一般

《山行日》18/2/15(木)

《参加者》星

《内容》今日は暖かかったので、羽黒山の下の駐車場からハイキングに星ズで行ってきました。約1時間で蠟梅の咲くところに着き、昼食をとりました。八分咲きで見ごろでした。奥の御嶽神社往復で12000歩歩きました。

■西大巔・山スキー

《山行日》18/2/10(土)

《参加者》倉俣、東 《日程》 《概要》 《内容》